

資料1  
第1回生活支援・介護予防  
サービス提供主体等協議体

平成 27 年度第 3 回生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体 会議録（議事要旨）

1 開催日時 平成 28 年 3 月 31 日（木）午後 1 時 30 分から午後 4 時 00 分

2 場 所 健康センター 研修室

3 出席者

（1）委員

地縁団体 阿久津 州美男

内野 光裕

地域福祉団体 星野 孝彦

小野 秀

高田 徳次郎

柳原 義介

福嶋 康人

内田 豊

名古屋 英幸

上垣 真人

倉重 光一郎

生活支援サービス事業関係者 村田 秀子

介護保険サービス事業関係者 稲川 悦子

（2）職員

高齢福祉担当部長 小山 利臣

健康福祉部長 八巻 浩孝

企画部企画課市民協働係長 小田島 弘幸

健康福祉部障害福祉課長 新井 勘資

健康福祉部高齢支援課長 細山 克昭

健康福祉部高齢福祉係長 岩崎 博幸

健康福祉部健康推進課長 田村 晶子

健康福祉部地域包括ケア推進課副参事 関口 美智子

健康福祉部地域包括ケア推進課福祉総務係長 根津 雅美

健康福祉部地域包括ケア推進課 吉村 晶子

湯瀬 大

- (3) オブザーバー 2名  
公益財団さわやか福祉財団 鶴山 芳子  
社会福祉法人聖労院 羽田 ゆかり

- (4) 傍聴者 4名

#### 4 次第

- (1) 開会  
(2) 挨拶 高齢福祉担当部長より  
(3) 配布資料の確認

資料1 清瀬市生活支援・介護予防サービス等協議体第2回会議録(議事要旨)  
資料2 生活支援サービス把握シート  
資料3 生活支援コーディネーター及び協議体の選出  
当日資料1 清瀬市生活支援・介護予防サービス等協議体傍聴人要領  
当日資料2 市民向けフォーラム(素案)

- (4) 会議録の確認  
事務局より第2回清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体の会議録(議事要旨)に関してホームページに掲載してよろしいか、確認依頼を行う。異議が無いようなので掲載することをご了承頂く

オブザーバーである、  
社会福祉法人聖労院 羽田 ゆかり 殿  
公益財団さわやか福祉財団理事 鶴山 芳子 殿 よりご挨拶いただく。

- (5) 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体傍聴人要領に関して  
事務局より清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体傍聴人要領に関して説明を行う。

傍聴人に入場頂く。

- (6) 市の方向性に関して  
事務局より、生活支援コーディネーター及び、市民向けフォーラム素案に関して説明を行う。第一層の生活支援コーディネーターは3月議会において1人分の人件費を承認いただけたので、これから人選を進めていきたいと考えている。市としては福祉に精通した社会福祉士、かつ勉強会を通じて参加者からいただいた意見を参考に社会福祉協議会を通して人選を進めていきたいと考えている。また別途、平成28年8月28日(日)開催予定の市民フォーラムに関して素案を作成した。まずは、市民の方に協議体と生活支援コーディネーターの紹介及び、清瀬市の取組を理解していただくことが必要だと考えている。内容に関して後程協議頂きたい。

## (7) 議題

### ア 生活支援サービス把握シートに関して

各委員より、生活支援サービス把握シートに関して説明して頂く。

### イ 協議体の進め方に関して（他市事例）

さわやか福祉財団鶴山氏より協議体・生活支援コーディネータとはどういうものか。また、他市の協議体の進め方に関して情報をいただく。全国6割の自治体がこの仕組みに取り掛かり始めているが、まだ、ほとんどの自治体が手探り状態である。従来の委員会形式ではなく、委員が自発的に取り組むことが必要である。委員の方々にお願いしたいのは、団体の活動を広げるのが目的ではなく、市民に働きかけをして、自分たちの地域をよくして、地域で支えあう仕組みを広げていくことが大切だということである。広げるのは市民の助け合いの仕組みであり、そのためには市民の生きがいの創出が大切である。行政主導では、助け合いの仕組みを構築することが難しく、住民主導が必要不可欠である。そのことを忘れないでほしい。

事務局より近隣6市に関して説明を行う。近隣4市では第一層の協議体として活動はしていない模様。東村山と東久留米が既存の会議体を第二層の協議体として活用し、情報収集を実施している模様。武蔵野市は生活支援コーディネーターが中心となって第一層、第二層、含め様々な市民が集まる場所に伺い、情報収集をしている模様。多摩市は協議体が設置され、協議体を中心となって、地域の課題の収集や市民フォーラム等を開催している模様。

### ウ 協議体の今後の進め方に関して

事務局より、協議体を進めるにあたり、市民に協議体を広く周知していききたい旨の説明を行う。そのため平成28年6月15日の市報で協議体・生活支援コーディネーターを紹介したい旨の説明を行う。また、平成28年8月28日（日）開催予定の市民向けフォーラムの広報を平成28年8月15日の市報で紹介したい旨の説明を行う。また、市民向けフォーラムの内容に関しても検討していただきたい旨の説明を行う

#### 委員長

スケジュール的にも本委員会だけで決定していくのは厳しいので市民向けフォーラムに関して小委員会で検討していきたい。いかがだろうか。

#### 委員長

特に反対意見が無いので、小委員会を発足する。参加メンバーに関しては有志でお願いしたい。

#### 委員

社協として広くこの仕組みを市民に伝えたいので是非、参加したい。

#### 委員

地域包括支援センターとして一人は参加させていただきたい。

#### 委員

小委員会では人数、頻度、どのようなことを検討するのか等、どのように考えているのか。

## オブザーバー

定期的な会議で、すべて決めていくことは時間的にも難しいと思われる。そのため小委員会を活用するのがいい方法ではないかと思う。ただ、小委員会だけで、全て決定するのではなく、ちらしはどのようなものを作成するのか等、具体的な広報の内容等を決める場としてまずは活用するのがいいのではないか。フォーラムを開催するのが目的ではなく、その仕組みや考え方を広めるのが目的。その際団体として動くのではなく、協議体の委員の方々は一人一人が個人として、受動的ではなく、能動的に取り組んでほしい。

## 委員

自主的に取り組まなければいけないことは理解した。部会を設け、すべての人が各部会に所属するのならいいが小委員会を発足し、一部の人だけが参加するのはいかがなものか。

## 副委員長

協議体として今後、しなければならないということが精査された段階であれば、部会が有効だと思うが、現時点では市民の方に広く考え方を理解していただくことが大事だと思う。まずは市民向けフォーラムを開催していくことを中心的に考えていくことがいいのではないか。

## 委員

新しい総合事業と絡んでくるのではないのだろうか。市としてイメージしているものがあるのであれば教えてほしい。

## 事務局

市としてイメージはもっていない。市民の方がどのようにしたいのか、というのが基本にあると考えている。行政主体にはしたくないと考えている。その上でもまずはフォーラムを開催するのが目標として検討していくのがいいのではないか。その後に関しては協議体で検討していくのがいいのではないか。支えあいの仕組みの基本は地域の人々がどうしたいのか、というのがポイントだと考えている。

## 委員

市報のイメージはどうなっているのか

## 事務局

確定はしていないが、協議体の紹介を行う6月15日号は市報の一面の半分を検討している。市民フォーラムのお知らせを行う8月15日号は一面を検討している。現時点でレイアウトが確定していない為、別途相談とさせていただきたい。

## 委員

この協議体だけで、市民フォーラムを行うことが疑問。社協の地域福祉計画等との整合性は問題ないか。

## 副委員長

社協としてもこれから市民とともに構築していく地域福祉計画と市民フォーラムは大きく逸脱しておらず、問題ないと考えている。

#### 委員

市の地域福祉計画も社協の地域福祉活動計画もこの協議体との整合性が不可欠だと考えている。この協議体でその内容に沿った具体的な計画を立てていくという認識で考えていきたい。

#### 副委員長

市民フォーラムに関しては市民目線がもっと必要だと思う。他の委員にも積極的に参加頂きたい。

#### 委員（複数）

挙手。

#### 委員長

阿久津委員長・星野副委員長・柳原委員、小野委員、高田委員・村田委員・内田委員・地域包括支援センター職員（1名）で小委員会を開催することで進める。

#### 委員

第二層の協議体に関しても、社協のまちづくり懇談会、市の円卓会議等まちづくりに関して話し合う場が複数ある。精査できると市民にとっていいのではないか。今後、協議体で話し合えればと思う。

#### 委員

介護保険の見直しを前提としたスケジュールと協議体をリンクしたスケジュールが必要ではないかと思う。

#### 事務局

平成28年1月28日（木）開催の第二回協議体でスケジュール案は提出しているので、それを皆様と協議し、調整しながら進めていきたい。

#### 委員

協議体の名前が長いので、簡単な名称に変更することは可能か。

#### 事務局

名前を変更するのは難しい。愛称を協議体でつけていただくのは問題ない。

#### オブザーバー

秋田県にかほ市では『にかほのささえあい創り隊』という名称で呼んでいる。清瀬にあった愛称で検討していくのがいいのではないか。

#### 委員

市民に知ってもらうということを考えると市民フォーラムでお披露目するのでもいいのではないか。宣伝を兼ねて公募等も検討していく必要があると思う。

委員長

かなりの時間が経過しているため、市民向けフォーラムの内容等に関しては小委員会で検討していきたい。

エ その他

(9) 閉会 健康福祉部長

次回開催は5月26日(木)午後を予定とする。